

平成26年度 香川大学卒業式 学長告辞

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

香川大学の教職員を代表して、お祝いを申し上げます。

またこの晴れの日を心待ちにしておられたご家族や関係の皆様方にも、心よりお祝い申し上げます。

この度学部を卒業する学生の数は、合計で 1,192 名になります。うち留学生は7名です。

今日の佳き日を迎え、皆さんの大学生活はアッというほど短かったと感じているのではないかと思います。この間、皆さんは多くの知識や論理の力、実験の技などスキルを修得し、またこれまで関わってきた多くの人々との出会いを通して大きく成長したはずです。

今、香川大学から巣立って行こうとしている皆さんを見ると、昔TVで視聴したオオワシの雛の巣立ちの日々を追ったドキュメンタリーを思い出します。大海原に面した断崖絶壁の巣に生まれ、時には海に落ちそうになり、また猛烈な風雨に耐え、親鳥が不在の時はカモメやカラスに襲われながらも生命の危機を乗り越え、やがて飛び立つ羽ばたきの準備をし、そして遂に大海原に向かって飛翔して

いくというものでした。その時私は苦勞して育った雛鳥たちが逆境に立ち向かい潜在能力と經驗を駆使して、すくすくとオオワシに成長してくれる事を祈りました。今皆さんが社会あるいは研究室へ巣立って行く瞬間に接し、全く同じ気持ちで感慨を新たにしています。

京セラ創業者のいなもりかずお稲盛和夫氏は、次の様な面白い事を書かれていました。“カエルは熱いお湯に入れると飛び出していくが、水を徐々に温めても温度の変化に気づかずじっとしている”と。これはぬるま湯の中で育ったヒトは、苦勞を知らず現状を打破しようとする強烈な思いを持たないという事の例えです。皆さんはある意味では、家族や友人、教員、大学という組織の中で守られ、比較的恵まれた生活環境であったと思います。社会に出て最初からうまくいく人はごく少数です。突然熱いお湯に出会い、自分の思惑の外、身の置き所がないくらい悩み辛い日々を過ごす時もあるでしょう。その様な逆境をどう生き抜くかで人生が左右されます。大学時代の学修を通して培った教養・専門知識、そして友人や先輩・恩師との付き合いやサークル活動、フィールドワークでの自信となった經驗や、時には失敗した經驗など、全てがこの先迎えるであろう困難な状況を打ち破

る糧となるはずです。そして、皆さん一人一人がかけがえないオンリーワンの価値ある人材であることを、いつも心に抱いて頂きたいのです。

一方、現在の社会は情報が駆け巡り、一人一人の個性が疎んじられるように感じられます。こういう時代だからこそ自分はこれがしたいという強い意思と、これが得意という知恵と技で生き抜くしたたかさが要求されると思うのです。大学で専攻した知識・技量がすぐ役に立たない事はよくある事です。大学で学修した物ごとの学び方・考え方・得られた情報を如何に処理し、そして自分で進むべき方向を如何に決断するか、それが皆さんの将来を左右すると思うのです。

一説には、“2030年までに現在の職業の60%がなくなる。そして、新しい職業が創り出される。”とされています。すなわち、この様な時代を生き抜くキーワードはイノベーションです。イノベーションとは、何か新しい技術の発明や物質の発見で起業することと捉えられがちですが、新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会に大きな変化をもたらす自発的な変革を指すとされています。皆さんがどのような社会・組織に入っても、今まで

鍛えられた感性や知恵と才覚を縦横に駆使して新しい社会の価値を創造する新しい仕事を創る・・・考えただけでも未来は開けていると感じませんか。自然生命科学・人文社会科学いずれの分野・職業に所属しても、皆さんは毎日の仕事や研究に埋没するのではなく、イノベーション・新しい価値を創造するのだと決意を新たにし、これからの日本を形造っていただきたいのです。

また、皆さんがどの様な職業に就かれたとしても、グローバル化の影響を受けます。

元ローソン経営責任者のにいなみたけし新浪剛史氏は、“グローバル人材に必要な条件は2つある。ダイバーシティ（多様性）とコミュニケーション能力だ。多様性については異なるものを面白いと受け入れる受容力だけでは足りない。相手に自分を印象付け、面白いと受け入れてもらえる被受容力も必要だ。理想的には、逆「T」の字で、縦は専門性の伸長、横の線に当たる教養などの幅を広げることで、外国人にも受け入れられる真のグローバル人になる”と言っています。

この事はよく言われているので理解していただければと思いますが、私はもう一つ皆さんに一生を通して磨いて欲しいのが、世界に誇る日本人の伝統的な美德です。外国に行

くと良く分かりますが、それは、日本人の血に流れている
勤勉さ・正確さ・繊細な巧み・いたわり思いやる心、そし
て、この四国では特に育まれたおもてなしの心などです。
世界中の方々が羨む、日本が誇る伝統です。次世代を背負
う皆さんには、そのような日本的な心を育て、そして次の
世代に伝えていただきたいと思います。

最初にお話ししたオオワシが雄大に空を駆け巡る姿を想
像し、この卒業式を契機に、困難な時代に立ち向かってい
く皆さんの将来が豊かなものになりますよう祈念して、告
辞とします。

皆さんのこれからの御活躍をお祈りします。

平成27年3月24日

香川大学長 長尾 省吾